

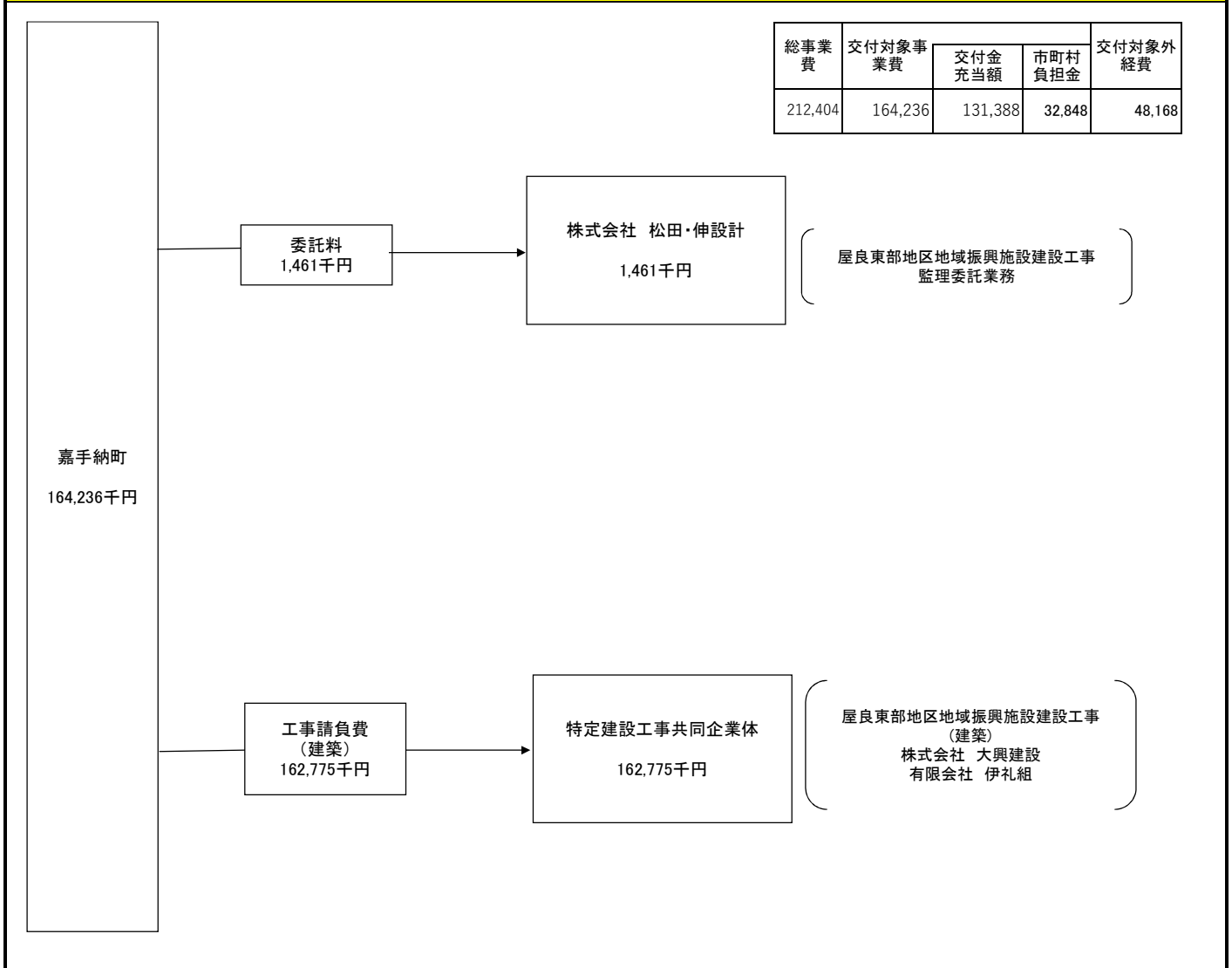
市町村名		嘉手納町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②		屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部課名	産業環境課 商工振興係		事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望台及び広場の拡張、飲食物販施設の増築、駐車場整備等)に向けた建築工事を行った。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,764	79,201	23,200	65,094	235,832
		(b) 予算現額	2,689	49,954	23,492	70,645	164,236
		(c) 増減額(b-a)	▲75	▲29,247	292	5,551	▲71,596
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	2,689	49,954	23,492	70,645	164,236
	B. 執行済額		2,689	49,689	23,476	65,154	164,236
	うち交付金充当額		2,151	39,751	18,780	36,044	131,388
	次年度繰越額		-	-	-	-	-
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.5%	99.9%	92.2%	100.0%
予算の状況の説明		入札残により、工事費53,346千円を減額したことに加え、当初予算には、出来高の全額を計上していたが、債務負担行為による契約を行っており、契約上、出来高の9割の支払いであったため、事業費を18,250千円減額した経緯がある。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	建築工事の実施	目標	(実施設計の策定)	(実施設計(その2)の策定)	(外構工事の実施)	(建築工事の実施)	
		実績	実施設計(その1)の完了	実施設計(その2)の完了	外構工事の完了	建築工事の完了	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	令和2年度分の工事として、基礎工事及び磁気探査の調査、杭の打設、鉄骨製品製作等を予定通り実施した。令和3年度の工事に向けて、遅延なく進んでいる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	建築工事の完了	目標	()	(実施設計(その2)の完了)	(外構工事の完了)	(建築工事の完了)	()
		実績		実施設計(その2)の完了	外構工事の完了	建築工事の完了	
	【R4成果目標】施設の来訪者数 77.9万人以上/年	目標	()	()	()	()	(77.9万人)
		実績					
進捗状況説明	令和2年度分の工事として、基礎工事及び磁気探査の調査、杭の打設、鉄骨製品製作等を予定通り完了した。令和3年度の工事に向けて、遅延なく進んでいる。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・当初予定とおり遅延なく工事が完了した。 ・屋良東部地区地域振興施設(既存棟)は通常営業を実施しており、入居テナントの方々や観光客への安全確保、工事に関する情報の周知活動を引き続き徹底する必要がある。 ・次年度も既存棟の改修工事など他の工事も別途発注することがあるため、工事に影響がでないよう調整が必要となる。 ・コロナウイルス感染拡大防止を徹底する必要がある。 ・感染症など社会情勢の影響による、資材の納品遅れなど工期完了が困難になる可能性が考えられる。 ・工期のスケジュールに合わせて、引き続き運営方法や方針等をより具体的に定める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、当該施設の運営状況や工事内容の情報発信に取り組む必要がある。 ・引き続き、工事のスケジュールの把握、厳守を徹底し、早期に取り組むほか、請負業者をはじめ関係者とコンセンサス形成を図り、当初予定通りに事業を推進する。 ・不測の事態に備え、請負業者とは進捗状況など密な連絡を取り、双方で現状を把握するよう努める。 ・さらに、施設の機能拡充後の運営方法(指定管理者の業務及び維持管理費、入居テナントの募集内容など)を関係者含め担当課にて引き続き検討しておく必要がある。

今後の取り組み方針

令和2年度から建築工事に取掛かり、令和4年度の供用開始に向けて、関係団体やテナント事業者との調整を交えながら遅延なく工事完了に向けて業務推進していく。加えて、看板や張り紙、広報紙など様々な媒体を使用し、当該施設の現状や供用開始の時期など今後のスケジュールの情報発信に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、事業の規模や実績等を勘案し、指名審査委員会にて決定したため妥当だと考える。 ○予算規模については2社以上から見積もりを徴収し、予算を積算しており妥当だと考える。 ○費目、使途については、精算段階で内容を検証しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	観光史跡等説明板整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部課名	中央公民館	事業実施(予定)年度	H24~H27, R2~R3	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成 Ⅲ-1-1		
事業内容	町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図ることを目的として、町史跡、旧跡等へ多言語表記した説明板を設置する。令和2年度は、町内の観光史跡等2箇所に説明板を設置した。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)						5,115
							4,180
			0	0	0	0	▲ 935
							0
			0	0	0	0	4,180
	B. 執行済額						4,180
	うち交付金充当額						3,344
	次年度繰越額						0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		入札残が出たため、補正減を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	町内の観光史跡等に説明板を設置する(2箇所)		目標 ()	()	()	(2箇所)	
			実績			2箇所	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	下記の場所に説明板を設置することで、町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図る環境整備を行うことができた。 ・屋良ムルチ ・屋良のメーガー						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(4年度)
	観光史跡等説明板の整備率100%		目標 ()	()	()	(100%)	()
			実績			100%	
	【R4成果目標】町文化財を活用した学習会等への参加人数100人以上		目標 ()	()	()	()	(100人)
			実績				
	進捗状況説明	令和2年度に案内板の設置を終了した。今後は案内板を活用した学習会を開催し、町の歴史・文化を発信していく。					

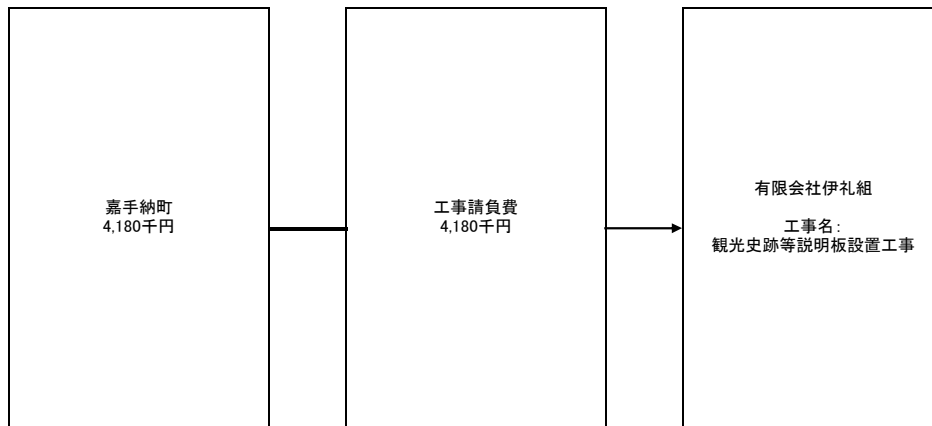
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 町の歴史・文化の継承及び町文化財を活用した観光誘客を図る環境整備は整ったことから、今後は活用に力を入れる必要がある。 令和2年度は、新型コロナの影響により、学習会の開催ができない状況だった。今後、どの様に活用していくか検討が必要である。 	<p>小人数でも可能な学習会の実施を検討。</p>

今後の取り組み方針

- ・一般向けに小人数での学習会の実施。
- ・小学校の地域学習の一環として、学校校区にある案内板を巡る学習会の実施。
- ・説明板設置箇所を含めた文化財マップ(パンフレット)を作成・配布しPRしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

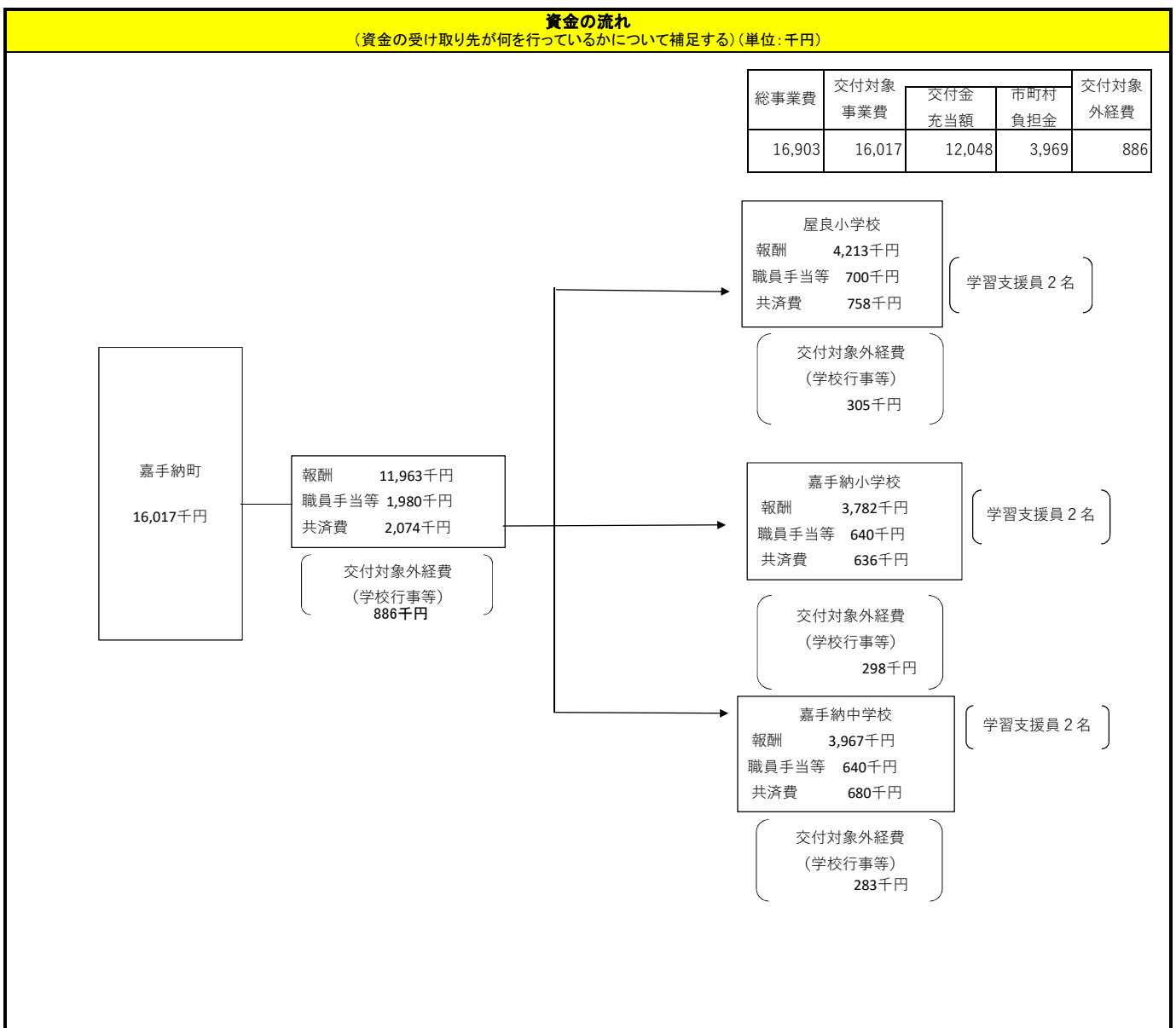
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,180	4,180	3,344	836	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く、適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力向上を図るため、教師と連携を図りながらチームティーチングを行うとともに、夏休み等に個別指導や放課後の補習授業を行う学習支援員を小中学校に配置した。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	(a)当初予算額	13,186	13,201	13,221	13,226	17,983		
	(b)予算現額	12,657	12,082	12,599	12,935	16,028		
	(c)増減額(b-a)	▲529	▲1,119	▲622	▲291	▲1,955		
	(d)繰越額							
	A.計(b+d)	12,657	12,082	12,599	12,935	16,028		
	B.執行済額	12,657	11,993	11,827	11,242	16,017		
	うち交付金充当額	10,125	9,594	9,461	8,993	12,048		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.3%	93.9%	86.9%	99.9%		
予算の状況の説明	一部の雇用者で欠勤が生じたこと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があったため、3月補正で1,955千円減額した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	学習支援員配置数 小学校:4人 中学校:2人	目標	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校1人)	(小学校4人 中学校2人)		
		実績	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校2人		
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員を本町小学校に4名(各学校2名)、中学校に2名配置した。 小学校においては、学級担任とのチームティーチングとして個別の対応や放課後の補習指導を行った。 中学校においては、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に、学級内で個別のチームティーチングを通じての学習支援や放課後(毎週月、水)・長期休業中の補習、数学検定対策講座をおこなった。 ※チームティーチング:複数の教職員が役割を分担し、協力し合いながら指導する方法。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査(算数・数学)において、県と本町との平均正答率の差		目標	()	(小:-1.3 中:-3.7)	(小:-4.8 中:-7.0)	(小:-4.4 中:-9.3)	()
	小学校:-4.4ポイント以上 中学校:-9.3ポイント以上		実績		小:-3.1 中:-8.6	小:0 中:-2.2	小:-0.1 中:-7.4	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
進捗状況説明	沖縄県到達度調査の県平均と比較すると、小中どちらも目標値を達成することができた。 令和2年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・小学校・・・小5算数:県平均45.2%、本町45.1%[-0.1ポイント] ・中学校・・・中2数学:県平均45.4%、本町38.0%[-7.4ポイント]							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①小学校においては、県平均とほぼ同等であり、目標を達成した。学級担任が授業を進めながら、学習支援員が、対象生徒を1カ所に集めての個別指導を行うという体制が整い、給食の時間や放課後などでの学習支援員を適切に活用した補習がなされていた。	①今後も対象生徒の明確化と授業における学習支援員の役割認識を強化し、成果の出た取り組みを他校に広め実践を促す助言を行っていく必要がある。 ②適切な補習時間の設定や授業のなかでの学習支援員の活用の仕方、効果のあった取り組みの継続を図る必要がある。 ③放課後において、定着が不十分な生徒へ対応する時間を確保する必要がある。
	②中学校においても年々改善が見られ目標値をクリアしている。学習支援員が対象生徒に案内状を送ったり、補習内容の掲示をすることで、生徒が主体的に補習に参加するような取り組みをおこなった。 ③新型コロナウイルスの影響による臨時的な休校で学習の定着が不十分な生徒が多くなることが予想される。	
今後の取り組み方針		
①学習支援員の役割を再認識させるとともに授業時の支援の在り方について管理者と共有する場を年2回設定する。 ②教育委員会が担当教諭、管理者と支援員の活用について協議の場を設け、学習支援員の役割、対象者、活用にあたっての前年度の課題について協議し、学習支援員の活用が効果的に行われるように、指導体制の統一・強化を図る。 ③定着が不十分な生徒や学習に不安をもつ生徒を対象とした補修の時間を放課後に適切に確保する。		



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。 ○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。 ○費目・使途については、報酬と職員手当等(通勤手当、賞与)、共済費となっており、本事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

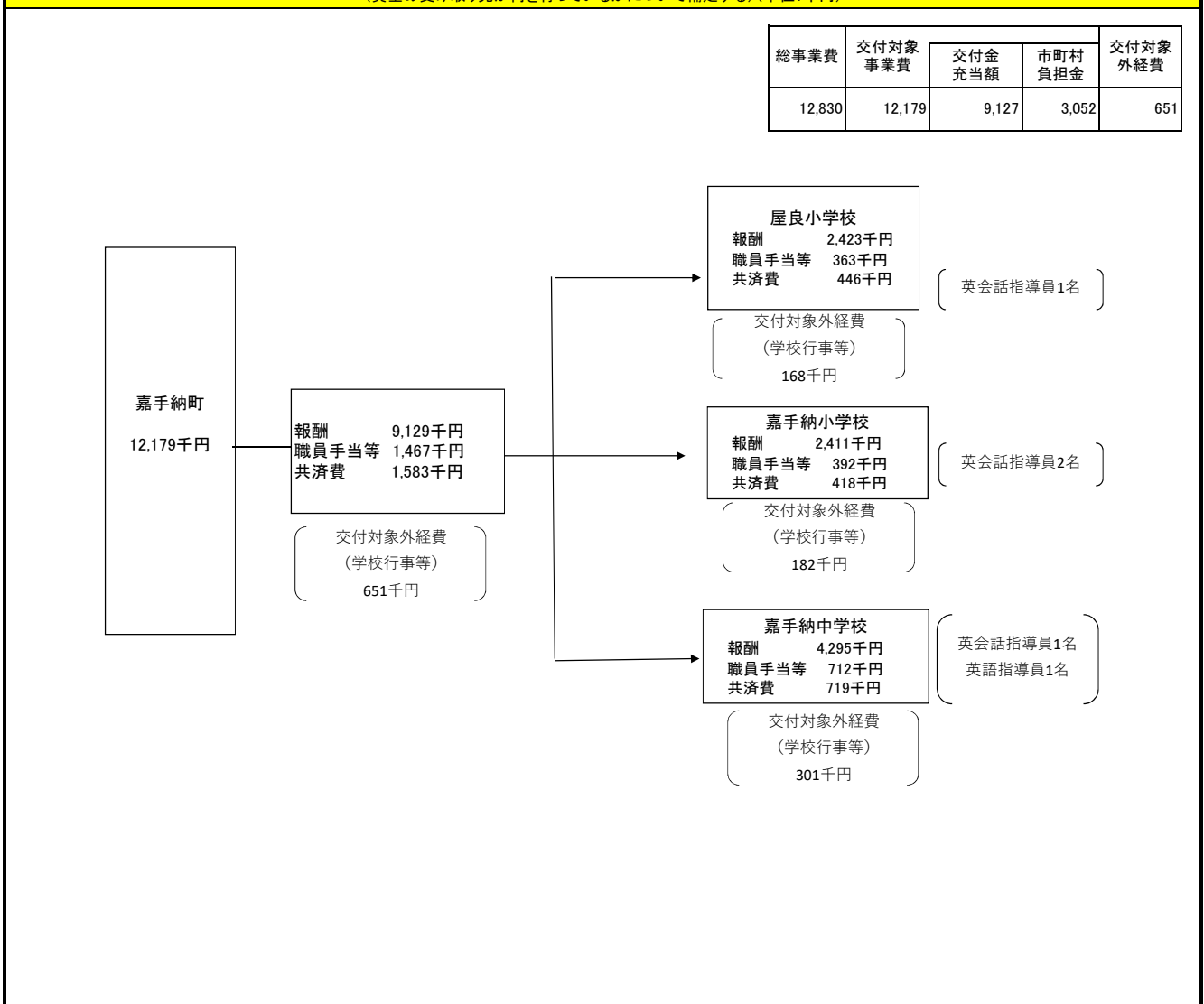
市町村名		嘉手納町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	英語力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部署名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進	
事業内容	小学生の英語への興味・関心の向上及び中学生の英語学力の向上を図るため、小中学校に英会話指導員及び英語指導員(中学校のみ)を配置し、小学生の英語学習への関心・意欲を高めるとともに、中学生に対する実用的な英語教育を実施した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,876	17,865	18,074	18,277	13,358
		(b) 予算現額	16,908	17,136	16,919	17,686	12,235
		(c) 増減額(b-a)	▲ 968	▲ 729	▲ 1,155	▲ 591	▲ 1,123
		(d) 繰越額	—	—	—		
	A. 計(b+d)		16,908	17,136	16,919	17,686	12,235
	B. 執行済額		16,908	16,489	16,288	15,636	12,179
	うち交付金充当額		13,526	13,191	13,030	12,508	9,127
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	96.2%	96.3%	88.4%	99.5%
予算の状況の説明		一部の雇用者で欠勤が生じたことと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があったため、3月補正で1,123千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	英会話指導員配置数 学校3人、中学校1人	小	目標	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校2人)	(小学校3人 中学校1人)
		実績	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校1人	
英語指導員配置数 学校 1人	中	目標	(中学校1人)	(中学校1人)	(中学校1人)	(中学校1人)	
	実績	中学校1人	中学校1人	中学校1人	中学校1人		
達成状況説明	英会話指導員(ALT)を小学校3名、中学校1名に、英語指導員を中学校に1名配置した。小学校では、学級担任とALTで連携し外国語の授業及び外国語活動を展開している。中学校では、担当教師とALT英語指導員で、英会話の授業を展開している。また、中学校では放課後の学習支援並びに英検対策講座を行っている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	①(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		76%	73%	75%	
	②(中学校) 英語検定3級以上を保有する生徒の割合:6.5%以上	目標	()	()	(8.0%)	(6.5%)	()
		実績			16.3%	13.2	
	③(中学校) 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差:-5.2ポイント以上	目標	()	(-2.8)	(-5.1)	(-5.2以上)	()
		実績		-1.7	+11.1	-5.4	
	【参考指標】 (中学校) 英語検定3級以上の合格者	目標	()	(45名)	(45名)	()	()
実績			25名	25名			
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 小学校においては、児童のアンケートで「英会話の授業が楽しいですか」の項目で、75%児童が楽しいと答え目標値を下回った。 中学校においては、3級以上を保有する生徒の割合は13.2%となり目標値を上回った。 沖縄県到達度調査の県平均との比較については、目標値を若干、下回った。 令和2年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・中学校・・・英語:県平均50.5%、本町45.1%【-5.4ポイント】						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①小学校のアンケート結果について、前年度課題のあった興味関心の高まりでは、小6は36%→59%と改善が見られたが、小5において低下があった。学校ごとに数値の差があった。</p> <p>②中学校においては、目標値は大幅に達成したものの感染症蔓延防止対策等で英検の実施回数が減、受験者数の減から、前年度の値から保有する生徒の割合は前年比で-3.1ポイントとなっている。</p> <p>③沖縄県学力到達度調査について、昨年度は県平均正答率と比較して+11.1ポイントであったが今年度は-5.4となり、目標には達していない。</p> <p>④臨時的な休校で学習の定着が不十分な生徒が多くなることが予想される。</p>	<p>①効果的な授業方法の共有が両小学校で必要である。アウトプットを中心とした授業改善をおこない、児童の英語に対する関心意欲を高め、英語に親しむ環境を整える必要がある。</p> <p>②キャリア教育と関連付けながら英検取得への意欲を高め、英検対策講座への参加者を多くする取り組みを強化する必要がある。</p> <p>③臨時休校等の予定授業数削減のなかでも、授業のなかでアウトプットを中心とした授業の展開に関しては積極的に取り組むことを推進させる必要がある。</p> <p>④放課後において、定着が不十分な生徒への対応の時間を確保し、対象の生徒を明確にした取り組みを推進する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- ①効果的な授業法の共有のために「外国語授業研修会」を実施する。
- ②今後も中学校においては、キャリア教育と関連付けながら英検取得への意欲を高め、受験者数の増加及び合格者数の増加を図る。また、対策講座への参加者増加のため、アナウンス強化(未受講者の割り出しと未受講者へ受験・講座参加の案内)や対策講座で活用する資料の内容をより充実させる。
- ③「外国語授業研修会」を実施し、授業のなかでのアウトプットの場面の設定を促すことで、生徒の英語活用力を高め目標値達成を図る。
- ④定着が不十分な生徒や学習に不安をもつ生徒を対象とした時間を放課後確保し、英検対策のみならず、授業の補習もあわせて実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。 ○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。 ○費目・用途については、報酬と職員手当等(通勤手当、賞与)、共済費となっており、本事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

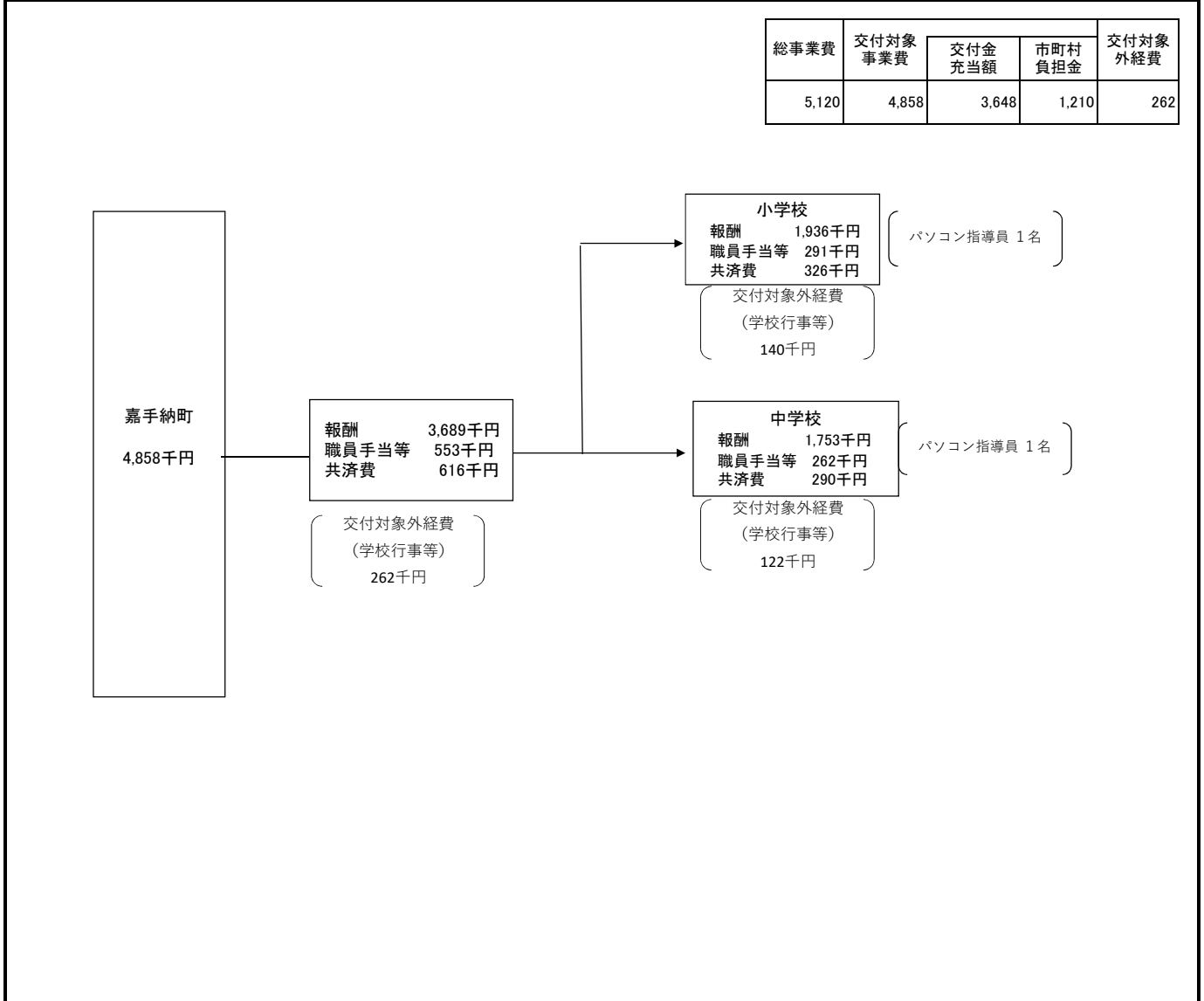
市町村名		嘉手納町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	ICT活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、情報機器等の操作能力の向上を支援するICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟度及び学校教育の質を確保した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,074	7,080	7,091	7,093	5,763
		(b)予算現額	7,082	6,753	6,628	4,585	4,861
		(c)増減額(b-a)	8	▲327	▲463	▲2,508	▲902
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		7,082	6,753	6,628	4,585	4,861
	B. 執行済額		7,082	6,751	6,628	3,990	4,858
	うち交付金充当額		5,665	5,401	5,303	3,192	3,648
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	87.0%	99.9%
予算の状況の説明		一部の雇用者で欠勤が生じたこと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があったため、3月補正で902千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	パソコン指導員配置数:2人(小中学校共有2人)	目標	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校2人 中学校1人)	(小学校1人 中学校1人)	
		実績	小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校1人	小学校1人 中学校1人	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	小学校に1名のパソコン指導員を配置し月ごとに曜日を決めて2校の巡回での指導を行った。中学校には1名配置とした。PC教室の環境づくりや関連機器の準備、電子黒板の活用アイデアの提供を行った。授業の際は、児童生徒への機器操作の指導を補佐した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		86%	88%	93%	
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員(パソコン指導員)の配置により、授業でのICT機器活用が促進された内容項目での肯定的な割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		96%	60%	81%	
	進捗状況説明	ICT機器を活用した授業を分かりやすかったと肯定的に回答した児童生徒の割合は93%となって目標値を達成している。教師のICT機器の使用に関しては「ほぼ毎日」と回答した教師は、81%であり、パソコン指導員から支援を受けたことに対して「よく受けている」25%、「たまに受けている」60%との回答があった。支援を受けた教師は、「準備」41%、「説明を受けた」84%、「活用時の補助」34%などの支援を受けている。また、ICT支援員の必要性については、90%の教師が「必要である」と回答している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①令和2年度末に児童生徒に1人1台の端末が整備され、子ども達がパソコンを扱う頻度が格段に多くなることが想定される。 ②端末の整備にともない学習支援ソフトが整備された。 ③臨時の休校等に伴い動画配信やオンデマンド学習授業などの必要性が予想される。	①児童生徒の授業中における端末操作や入力等の支援の必要性が高まっている。 ②学習支援ソフト活用の活性化を図る必要がある。 ③臨時休業に対応できるようにパソコン指導員は動画配信やオンライン授業等に関する情報を収集しておく必要がある。

今後の取り組み方針

- ①指導員は、授業でのパソコン使用時に担当教師とチームティーチングをおこない、児童生徒への個別の支援を中心におこなう。
 ②放課後の時間にパソコン教室において学習支援ソフトが使用できるように場所の管理、入力等の操作支援をおこなう。
 ③指導員は、休校中などの動画配信、オンライン授業の実施に向けた配信動画の制作、オンライン授業実施に向けた教師の支援をおこなう。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



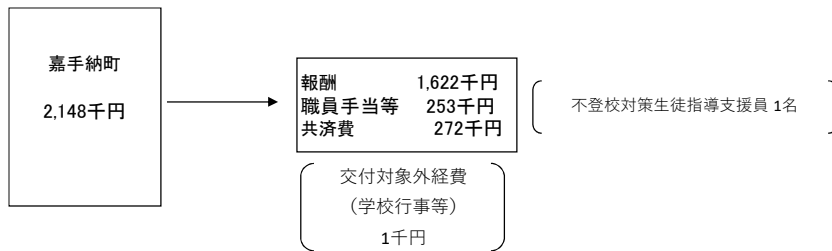
資金の流 れ、点 検、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。 ○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。 ○費目・使途については、報酬と職員手当等(通勤手当、賞与)、共済費となっており、本事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④ 不登校対策生徒指導支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進	
事業内容	不登校生徒や長期欠席者の早期支援の充実を図るため、中学校へ生徒指導支援員(生徒指導補助員)を配置し、家庭や関係機関と連携を図りながら、不登校の生徒に対して特別な支援を行った。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,481	3,540	3,541	3,796	2,194
		(b) 予算現額	2,589	3,151	3,566	1,854	2,161
		(c) 増減額(b-a)	▲ 892	▲ 389	25	▲ 1,942	▲ 33
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計(b+d)		2,589	3,151	3,566	1,854	2,161
	B. 執行済額		2,589	3,151	3,565	1,671	2,148
	うち交付金充当額		2,071	2,520	2,852	1,336	1,622
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	90.1%	99.4%
予算の状況の説明		新型コロナウイルスの影響で休業期間があり、対象外期間があったため、3月補正で33千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	生徒指導支援員配置数 中学校:1人	目標	(中学校2人)	(中学校2人)	(中学校2人)	(中学校1人)	
		実績	中学校2人	中学校2人	中学校1人	中学校1人	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	中学校へ不登校対策生徒指導支援員を配置し、生活リズムの崩れた不登校生徒へ登校支援や生活指導、悩み相談を実施した。また、登校しても学級へ復帰できていない生徒に対して校内での居場所づくり、学習支援等の支援をおこなう。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	不登校出現率 2.2%以下	目標	()	()	()	(2.2%)	()
		実績				2.3%	
	【参考指標】 不登校生徒復帰率 25%以上	目標	()	(16.70%)	(25%)	()	()
		実績		30%	16%		
進捗状況説明	令和3年3月末の不登校生徒数は、中1(2名)、中2(6名)、中3(3名)の計11名で年間を通した数値での出現率は2.3%(3月時点で生徒数475名)となり、目標値より+0.1%となっているが、不登校生徒数のうち令和2年度新規の不登校は1名であり、新しく不登校となる生徒が抑えられている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①不登校生徒の要因として「無気力でなんとなく登校しない」「迎えにいったり強く催促すると登校するが長続きしない」等の無気力の傾向が多く見られる。 ②不登校の解決に向けて家庭からの支援を十分に受けられない生徒がいる。 ③学校へ登校したときに居場所が十分に確保できていない。	①無気力傾向の不登校の解決に向けては、体験活動等の充実が必要である。 ②家庭との連絡を密して連携の強化を図るとともに、関係機関と連携した取り組みにより家庭支援を推進する必要がある。 ③学校へ登校してきたが、まだ教室へ復帰できない生徒の居場所を確保し、その際の支援を充実させる必要がある。
今後の取り組み方針		
①校内や関係機関(適応指導教室など)と連携した体験活動(適宜地域行事等への協力や参加)の場の構築やそれに係る支援をおこなう。 ②理由なし欠席3日間以上の生徒への家庭訪問や、欠席が続く生徒の実態に応じた定期的な家庭訪問実施など、登校支援を充実させる。 ③登校してきたが教室へ入れない生徒に対して教室以外の場所を確保し、対象生徒に合わせた教室復帰にむけた学習支援、体験活動、教育相談などの支援を充実させる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,150	2,148	1,622	525	1

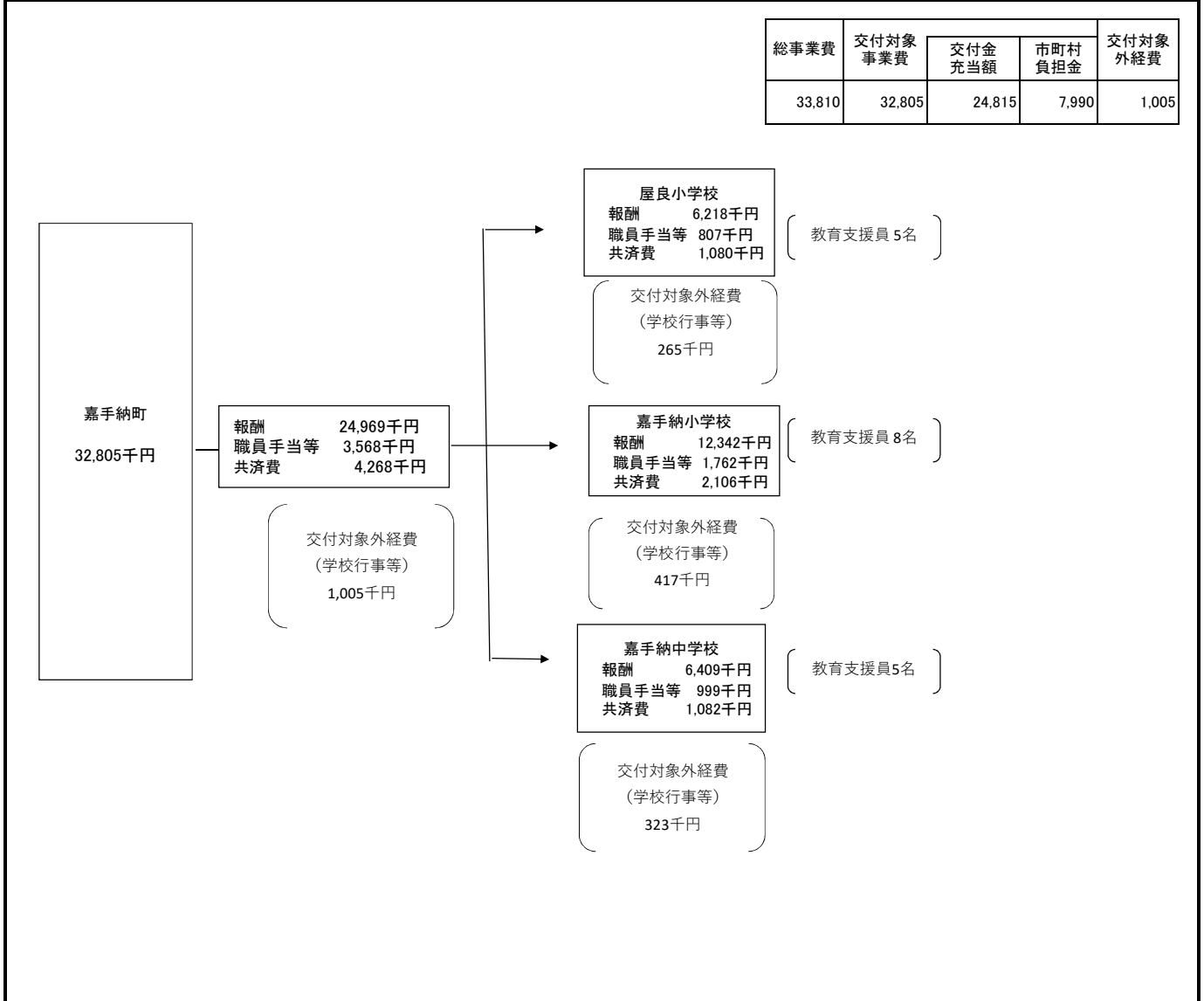


資金の流 れ、点 検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。 ○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。 ○費目・用途については、報酬と職員手当等(通勤手当、賞与)、共済費となっており、本事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥ 特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
事業内容	発達障害等により学習や生活面で特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	40,292	47,862	45,459	43,306	38,129
		(b) 予算現額	30,530	45,575	36,929	34,247	32,933
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 9,762	▲ 2,287	▲ 8,530	▲ 9,059	▲ 5,196
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計 (b+d)		30,530	45,575	36,929	34,247	32,933
	B. 執行済額		30,530	44,225	34,162	31,448	32,805
	うち交付金充当額		24,423	35,380	27,329	25,158	24,815
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.0%	92.5%	91.8%	99.6%
予算の状況の説明		雇用確保できず2名分の予算を減額した。また、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があったため、3月補正で5,196千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援教育支援員配置数 小学校:13人、中学校:5人	目標	(小学校20人 中学校 8人)	(小学校20人 中学校 8人)	(小学校16人 中学校 7人)	(小学校13人 中学校5人)	
		実績	小学校17人 中学校 8人	小学校16人 中学校7人	小学校15人 中学校6人	小学校13人 中学校5人	
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	小学校に13名、中学校に5名の支援員を配置し、対象児童生徒(小学校30名、中学校15名)に対し、授業等、学校生活におけるリズムを整えさせ、コミュニケーション力向上や学びに向かうための環境づくりの支援を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		85%	92%	82%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	対象となる児童生徒の保護者に対し、支援員の配置によって子どもの学校生活や学習上の困り感が改善されたかについてアンケートを実施したところ、「改善された」「どちらかというと改善された」の数値の合計が82%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①アンケートの記述欄には、教育サポーターの関わりについて概ね肯定的な内容が記されていた。今後の支援に係る要望として「子ども達の自立を促すための支援」があげられた。 ②サポーターの中には新規採用者等も含まれるため、各サポーターの子ども達への対応力に差がある。	①子ども達が自立した学校生活を送ることができることを最終目標に、実態に合わせた適切な支援方法について、支援員のスキルアップを図る必要がある。 ②児童生徒の成長と共に、支援状況は絶えず変化するため、各支援員のスキルアップのために、継続して研修会を開催する必要がある。
今後の取り組み方針		
①研修会では「自立を促す支援」について協議を深めるとともに、講師による課題レポートへの助言を通して、支援員の資質能力や意欲向上を図る。 ②支援員個々のスキルアップのための研修を年に6回開催し、どの対象児も満足する支援を受けられるようにする。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。 ○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であったが、退職等により雇用出来ない期間が発生したこと、コロナ感染症の影響により対象外経費が発生した。 ○費目・用途については、報酬と職員手当等(通勤手当、賞与)、共済費となっており、本事業に必要なものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	雇用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 Ⅲ-2	
事業内容	求職者の就職促進を図るため、就職相談窓口を開設し、就職活動の支援を行った。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,609	3,464	3,306	3,298	2,381
		(b) 予算現額	3,539	3,307	3,306	3,257	2,381
		(c) 増減額(b-a)	▲70	▲157	0	▲41	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)	3,539	3,307	3,306	3,257	2,381	
	B. 執行済額	3,539	3,306	3,281	3,256	2,381	
	うち交付金充当額	2,831	2,645	2,625	2,604	1,903	
	次年度繰越額	-	-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	相談窓口開設(毎週火・金曜日) 90日	目標	(95回)	(95日)	(92日)	(90日)	
		実績	95回	95日	92日	90日	
	【参考指標】 セミナーの開催日数	目標	(45回)	(45回)	(45回)	()	
		実績	45回	45回	45回		
達成状況説明	計画通り実施し、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	相談者のうち、就職が決まった人数:8人以上	目標	()	()	(11人)	(8人)	()
		実績			7人	10人	
	【参考指標】 相談者のうち、就職が決まった人数の割合:4.5%以上	目標	()	(5.7%)	(5.5%)	(4.5%)	()
		実績		5.9%	2.3%	3.3%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・嘉手納町民の利用人数は延べ301人で、全体の75%であった。 ・令和2年度より前年度まで実施していたセミナーを廃止したが、令和2年度の嘉手納町民の利用人数は令和元年度とほぼ同数となった。 ・就職した人数は前年度から3人増え10人となったが、その割合は3.3%で目標の4.5%には届かなかった。 ・後追い調査ができた人数に対する就職率は28.6%で、前年比△8.2ポイントとなっている。 						

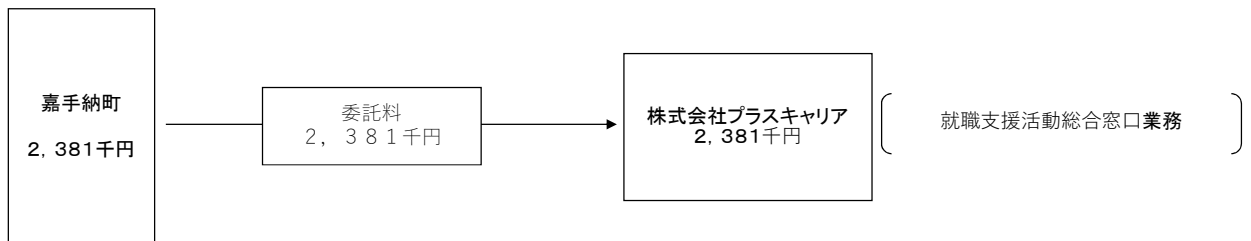
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の利用者数について、令和2年度よりセミナーを廃止したことに伴う極端な増減は見られなかったことから、セミナー廃止は妥当であったと考える。 ・アンケート調査において、本事業を知った経緯のうち、最も多かったのは広報誌・チラシ等の紙媒体によるもので45%、次に役場訪問時が39%であることがわかった。 ・後追い調査できた人数が前年比84%となっているが、セミナー廃止に伴い調査人数の分母が小さくなったことで集中的な調査が可能となったことが要因であり、また、そのことが就職率の上昇にも繋がったと考える。 ・就職者数については目標達成したものの、その割合については目標達成にはいたらなかったこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌やチラシ等の紙媒体による事業周知において、更に効果的な設置場所がないか、また、その他の周知方法についても改善の余地があると考え。 ・より多くの後追い調査が行えるよう、調査方法の改善が必要である。

今後の取り組み方針

- ・より多くの後追い調査が行えるよう実施方法を改善する。
- ・チラシ等の効果的な設置場所の検討及び検証。
- ・ハローワーク及び町内事業者より求人情報を収集し、利用者へ情報提供を行い、利便性を高める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,381	2,381	1,903	478	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、執行率95%以上であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	廃棄物リサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア	
担当部署名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進	
事業内容	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行った。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,397	11,831	11,928	13,837	13,393
		(b) 予算現額	11,843	11,769	12,386	13,404	16,582
		(c) 増減額(b-a)	▲1554	▲62	458	▲433	3,189
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	11,843	11,769	12,386	13,404	16,582	
	B. 執行済額	11,842	11,742	12,384	13,026	15,228	
	うち交付金充当額	9,474	9,393	9,907	10,420	12,183	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.8%	100.0%	97.2%	91.8%	
予算の状況の説明	・当年度より破砕業務において単価契約を実施している。昨年度までの稼働時間と検証結果より算出した1時間当たりの破砕量から破砕予定数量を提示して入札を実施した。 ・コロナ禍での在宅時間増が要因と思われるが、搬入量が破砕予定数量を大幅に超え、年度上半期で75%程度予算執行済となったため、上半期平均搬入量から年間必要額を算出し、12月補正で予算3,189千円を増額した。下半期は搬入量が上半期よりも減少したため、精算の結果執行率91.8%となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	目標	(木くずの再資源化)	(分別徹底の周知)	(草木の回収及び再資源化の実施)	(草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施)	
		実績	木くずの再資源化(チップ化実施)	分別徹底の周知済	全草木ごみの再資源化済	全草木ごみの再資源化済	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	令和2年度の町全体の一般廃棄物量は、前年度と比較して16.77%削減された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
		草木の再資源化(草木ごみの処理量) 616.8t以上/年	目標	(600t)	(683t)	(656t)	(616.8t)
	実績			600t	631t	799.42t	
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	・昨年度までのリサイクラーの1日稼働時間から算出して令和2年度の破砕見込量を616.8tと設定していたが、搬入された草木ごみ799.42tを全てチップ化し、目標を達成した。 ・コロナ禍での在宅時間増が要因と思われるが、搬入量が破砕予定数量を大幅に超えたため稼働時間を増やし、全ての草木ごみの再資源化を完了した。						

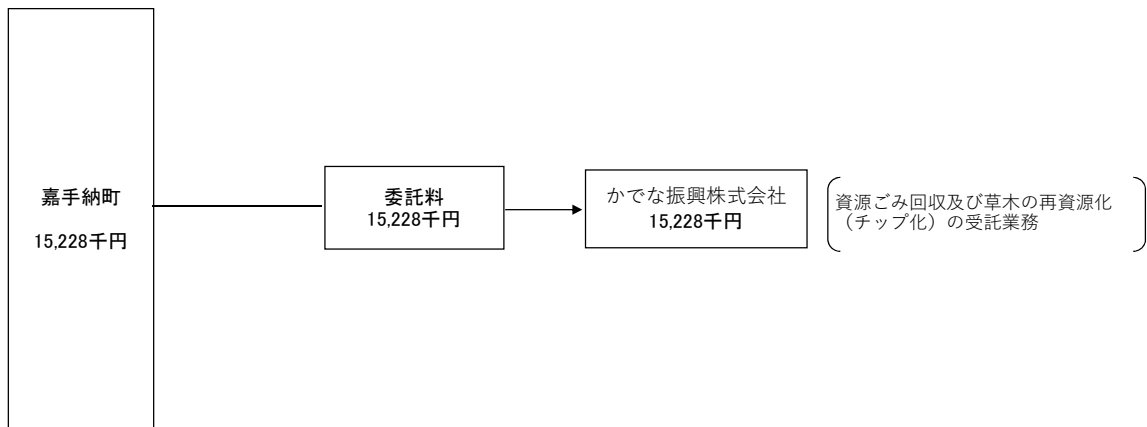
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ハード面において、経年劣化によるリサイクラーの修繕頻度が増えているため、機器更改の時期を検討する必要がある。	定期自主点検の実施及び修繕を即時実施しており、機器の延命化は図られているため現時点では改善の必要は無いものと考えられる。

今後の取り組み方針

R2年度において、破碎予定量を超えた草木ごみが搬入されたが全ての処理が完了しているため、リサイクラーの稼働時間の詳細を変更するため調査をし、破碎予定量の設定変更を行う。そのことにより、令和3年度以降の事業費の抑制を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,228	15,228	12,183	3,045	



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○回収業務は随意契約、破碎業務は入札により支出先の選定を実施しており、妥当であると考えております。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○回収業務は一般廃棄物収集業務と比較し、破碎業務は本町で処分せずに民間に持ち込んだ場合の処理経費と比較し、予算規模につきましても妥当性を確認しております。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、毎月精算を実施しており、目的に即し、必要なものであったと確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	嘉手納町					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	嘉手納町公共施設省エネ化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)-ア	
担当部課名	都市建設課	事業実施(予定)年度	平成30年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地球温暖化防止対策の推進	
事業内容	照明機器の使用によるCO2の排出量を削減するため、公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替えた。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 <small>【単位:千円】</small> <small>(「交付金」+「市町村負担」ベース)</small>		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)		46,156	119,200	31,440	
			45,478	95,360	41,800	
			▲ 678	▲ 23,840	10,360	0
			45,478	95,360	41,800	0
	B. 執行済額	45,468	95,360	41,800		
	うち交付金充当額	36,374	76,287	33,440		
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	
	予算の状況の説明	設計書の見直しにより工事費が増えたため、9月補正で予算10,360千円を増額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティーセンターの照明設備のLED化	目標	()	(照明設備のLED化)	()	()
		実績			照明設備のLED化を実施	
	公園施設等照明LED化推進工事実施設計	目標	()	(実施設計)	()	()
		実績			実施設計完了	
	嘉手納中学校屋内運動場照明設備のLED化	目標	()	()	(中学校屋内運動場照明設備)	()
		実績			中学校屋内運動場照明設備完了	
	兼久海浜公園ソフトボール場屋外照明設備LED化	目標	()	()	(ソフトボール場屋外照明設備LED化)	()
		実績			ソフトボール場屋外照明設備LED化完了	
公園施設等の照明設備のLED化:11施設	目標	()	()	()	(11施設の照明LED化)	
	実績				11施設の照明LED化完了	
達成状況説明	当初予定通り、工事を実施し完了した。					

R2成果目標(指標)		基準値	H30年度	R1年度	R2年度	目標値
		(年度)	()	()	()	(年度)
H30年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 嘉手納町総合福祉センター	目標	()	(33,747 (kg-CO2/年))	()	()	()
	実績	/	33,747 (kg-CO2/年)			/
H30年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 嘉手納町地区コミュニティーセンター	目標	()	(44,320 (kg-CO2/年))	()	()	()
	実績	/	44,320 (kg-CO2/年)			/
【公園施設等照明LED化推進事業】 公園施設等照明LED化推進工事実施設計の完了	目標	()	(実施設計 の完了)	()	()	()
	実績	/	実施設計 の完了			/
R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 嘉手納中学校屋内運動場	目標	()		(2,290kg- CO2/年)	()	()
	実績	/		2,290kg-CO2/年		/
R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 兼久海浜公園ソフトボール場	目標	()		(5,410kg- CO2/年)	()	()
	実績	/		5,410kg-CO2/年		/
R2年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 11施設 1,266Kg-CO2/年の削減	目標	()	()	()	(1,266Kg- CO2/年の)	()
	実績	/			1,266Kg-CO2/年 の削減	/
進捗状況説明	証明器具の切り替えにより、目標としていた二酸化炭素排出量を削減できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減のため、機器の切替を行ったが、利用者の節電対策も必要である。 ・第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定したCO2削減目標に向けた取組をしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定した温室効果ガス(CO2)の排出削減に向けては更に削減努力をする必要がある。 ・今回実施した照明のLED化だけでなく、太陽光発電等の再生可能エネルギーの積極的導入や施設設備の改善等も取組む必要がある。

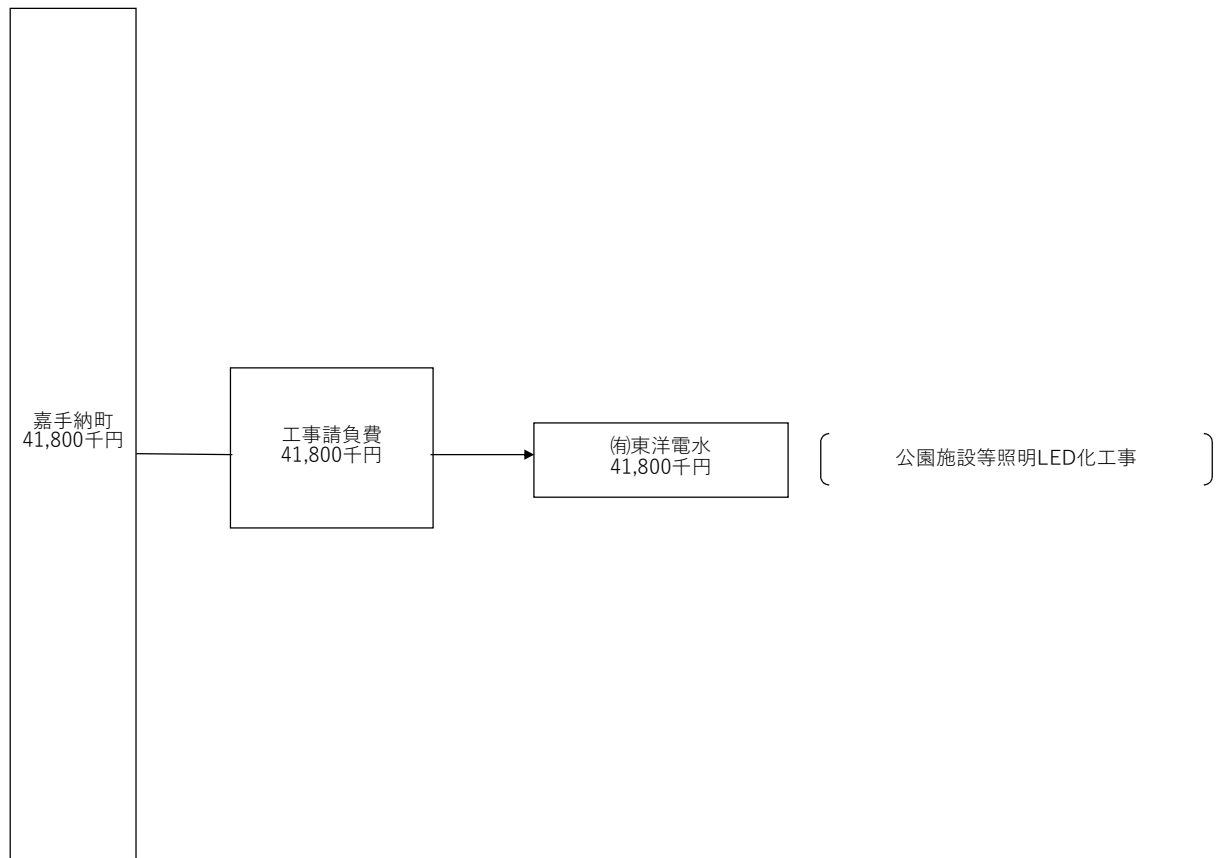
今後の取り組み方針

今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,439,027kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進していく。

- ・嘉手納町スポーツドーム及び嘉手納町葬祭場の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替える。
 嘉手納町スポーツドーム : 48,376kg-CO2/年の削減
 嘉手納町葬祭場 : 7,240kg-CO2/年の削減
- ・利用者に節電を実施させる具体的な取り組み
 利用者がいない場合など不必要な個所の消灯をおこない、照明の点灯時間の削減に努める。
 節電することでCO2削減を推進する内容を周知する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
41,800	41,800	33,440	8,360	



資金の流 点検・費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く、適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	